

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
2月21日発行 NO.35
文責 出崎 友英

掃除をがんばろう。

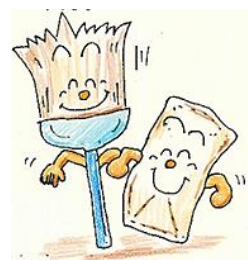
今週は、生徒会の整美委員会が企画した「掃除コンクール」がありました。①黙礼後、無言で掃除に取り掛かったか ②時間いっぱい無言で取り組めたか ③クラスの雑巾掛けはきちんと整頓されているか ④すみずみまで掃除がされているか の4つを重点項目にあげて、掃除をがんばろうと全校生徒に呼びかけていました。

山本健治さんは、「たかが掃除と言うなかれ」(日本実業出版社)という本の中で、掃除をすることの意味を5つあげています。

- ① 掃除は「すべてのスタートであり、ゴール」です。
1つの仕事を開始するために整理・整頓して準備をし、仕事が終わった時にまた片付けと掃除を行うように、すべてのことは掃除で始まり掃除で終わるのです。
- ② 掃除は「点検と予防」です。
ていねいに掃除をすることで危険箇所や危険物に気づき、事故の未然防止につながります。逆に掃除をいい加減にすると、思わぬ失敗をしたり、アクシデントが起きたりするリスクが高まります。
- ③ 掃除は「質を表わすバロメーター」です。
きれいに掃除されたお店は、商品も輝いて見えます。散らかった工場では不良品が出やすいと言います。掃除をていねいにすることは、その場の質を高めるための第一歩です。➤

- ④ 掃除は「人を磨くこと」です。
掃除を真剣にすることで、掃除した場所だけでなく、掃除に取り組んだ自分の心も磨かれていくものです。
- ⑤ 掃除は「喜び」です。
掃除というと、めんどくさくていやなことだと思ってしまう人がいますが、熱心に掃除に取り組んで、自分たちが掃除をしてきれいになった場所を見ると、達成感や充実感を感じてうれしくなったりするものです。

東京ディズニーランドのカスターディアルと呼ばれる掃除担当の若者たちは、まるでダンスを踊るように実に軽やかに、すてきな顔をして落ちているゴミを集めて床をきれいにしていきます。
彼らは「美しく清潔にすることは、やりがいのある楽しいことであり、だからこそお客様も楽しんでくれる。周囲のみんなも気持ちがいいし、それを見ている自分もうれしい。」と言います。



掃除をがんばりましょう。誰かにやらされる掃除から、自分から探して気づき楽しむ掃除へとさらに進化させましょう。どこにも負けない錦ヶ丘中学校のプライドをこめて、これからも掃除に取り組んでいきましょう。

1年生の合唱コンクール

2月14日(金)、1年生の「合唱コンクール」がありました。当初予定していた日時から延期になって、待ちに待った本番でした。「天歌夢奏(てんかむそう)~輝き届け! 合唱魂~」のテーマのもと、各クラスが課題曲「ぜんぶ」と自由曲を歌いました。これまで練習してきたことをしっかり発揮してそれぞれのクラスの個性も光っていました。そして、パンフレットや実行委員の言葉、行動にもこのコンクールへの思いが感じられる、すてきなひとときでした。1年生の皆さん、ありがとうございました。



◆お知らせ・お願いです。

○2月19日(水)と21日(金)、2年生の「高校説明会」を行いました。本校の近隣にある6つの高校から先生方に来校いただき、それぞれの高校の特色や進路状況等について説明をしていただきました。中学校卒業後の進路選択に向けて、意識を高めるための貴重な時間になりました。来校いただいた高校の先生方、そしてご参加された保護者の皆様、ありがとうございました。



○教育委員会からの情報によると、「今年度小・中学生が関係した交通事故が84件発生し、そのうち39件は自転車による事故である。自転車乗車時にヘルメットを着用していなかった状況での事故も発生している。」とのこと。また、報道によると、「熊本市では中学生へのヘルメット購入費補助も始まる。」とのこと。自転車利用の際は交通ルールを守り、ヘルメット着用を心がけるよう、家庭でのご指導をお願いします。



「させられる仕事」から「する仕事」に変わるとき、
苦しみは喜びに変わる。 「先生のコトバ集」より